

流山九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

山田 7144-3993 石林 7154-7511

三原 7152-6559

2012.10.1 NO.79

メール：info@nagareyama9.org



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/>

九条の会 秋の学習会

「失われゆく命とくらし」

「原子力の平和利用」の名の下に

お話 内藤新吾さん

松戸市日本ルーテル福音総台教会牧師

2012年11月17日(土)

13:30 開会

流山市第2コミュニティホーム(通称 怪獣公園)

流山市野々下3-797 電話 04-7144-4258

東武野田線豊四季駅南口徒歩10分

参加費：無料



出します。そのため米海軍の一部の揚陸艦のフライトデッキを損傷する恐れがあることがわかっており、米軍は一時的に防護シールドを置き、さらに船体の構造も変える必要があると報道されている代物です。つまり鉄の飛行甲板も融かしてしまうということ。森林から飛び立とうとして火事になったこともあります。

外交が危ない!.....領土問題

オスプレイ来るな!

反対の声全国に

オスプレイ配備反対の声が広がっています。危険性が指摘されながら、強引に安全宣言を出して押し付ける政府・米軍の姿勢に、不信感が募っています。防衛庁長官が乗って見せて安全だというPRは放射線を浴びた食物を食べてみせるパフォーマンス同様にあまりに稚拙です。しかも危険な低空飛行訓練が日本列島全体に及ぶことが明らかになっています。

輸送ヘリはその役割からして重く、高空を飛ばせません。半端に高く飛ぶことはレーダーに捉えられて攻撃されるため、敵地を低空で飛行することが必要で、そのための訓練が欠かせません。プロペラを上に向けたり、前に向けたりするのが特徴で、滑空して着陸することも可能ですが、ヘリコプター・モードから固定翼機モードへの切り替えには12秒かかり、その間に機体は最低でも約480メートル落下するため、きわめて操縦が難しく、この間に墜落事故が多い。しかし米軍は機体は安全だが、事故は操縦ミスだと言います。この論法でなら事故を起こす乗用車などみんな安全になってしまうでしょう。排気熱も重大問題です。垂直離着陸には大量の高温排気を下に吐き

民・自党首選挙が終わり、民主党は国民の支持率のない野田氏、自民党は「憲法改正」「自衛軍創設」の急先鋒、安倍氏の返り咲きとなりました。ますます憲法が、そして北方領土に加え、竹島、尖閣など領土問題が危ういところにきています。自民党は総裁選での報道を通じて、マスコミを利用し、違いを争うどころか一致して国民を「日米関係基軸」「防衛力強化」の方向であおってきました。9月23日TBSの『サンデーモーニング』で河野洋平氏は自民党総裁選に出馬した5候補について、「自民党はずいぶん幅の狭い政党になった。保守の中の『右翼』ばかりだ」と批判しました。一方政府民主党は「慎重に対処」という言い方で、動いていると思えません。自ら「領土問題は存在しない」などと言ってしまっ、自分の手を縛ってしまっている状況です。過去の歴史を正面から

(日本国憲法前文より抜粋)

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

での電力をを電力会社が買い取る制度を拡大しました。流山市でもまだ少額ですが補助を増やしています。建設会社の一部も新築住宅に勧めています。

設置すれば停電時も太陽が出ている時間は電気が使えます。この際太陽光発電を考えてみませんか、ということで開かれる会です。